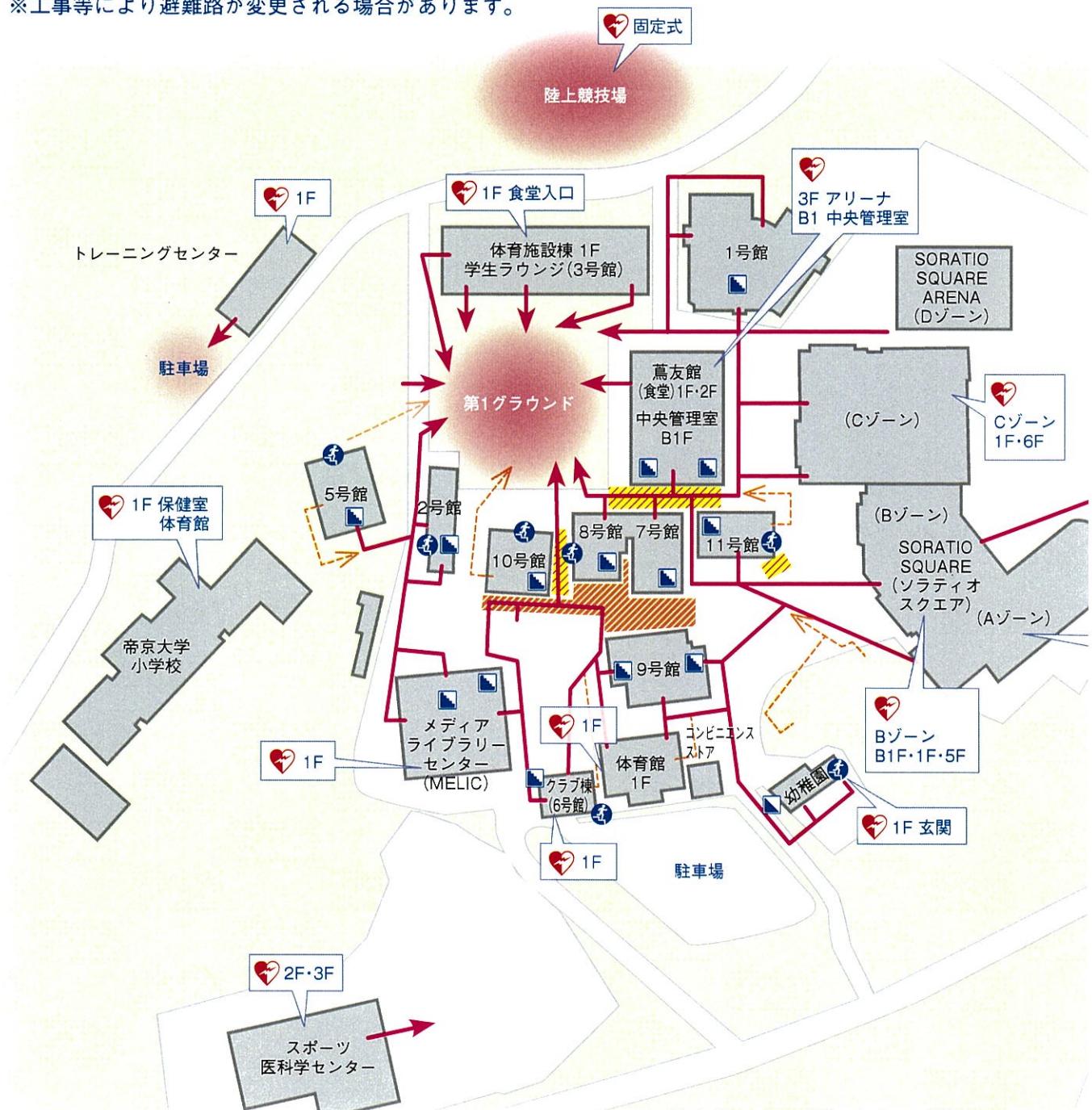


八王子キャンパス避難経路図およびAED設置箇所

「緊急地震速報」を受信し、震度5弱以上の時は、全館一斉放送を行います。自分の身を守ってください。避難開始時にも一斉放送を行います。

※工事等により避難路が変更される場合があります。



…危険区域



…準危険区域

…屋内階段

…非常階段

…主避難路

…副避難路



…AED
(自動体外式
除細動器)

自分の命は自分で守ることが大切です

災害時の対応について

大規模災害発生時には、巻末のハガキで被災状況について大学宛に報告してください。

緊急時連絡先

平日 8:45～17:00 → ソラティオスクエア1階 学生サポートセンター **042-678-3309**
土 8:45～12:30
上記時間以外 → 薦友館地下 中央管理室 **042-678-3210**

火災発生時

1. 火災を発見した場合、非常ベルを押し、周囲の人に火災発生を伝える。
2. 自分の身の安全を確保しながら初期消火に努める。
3. 炎が天井まで達するような時には、煙を吸わないようハンカチ等を口・鼻に当て、姿勢を低くして屋外へ避難する。

消火器の使い方

- ①安全ピンを引き抜く。
- ②ホースをはずして、火元に向ける。
- ③レバーを握って噴射。



地震発生時

1. 自分の身の安全を確保する(ガラス等の落下物に注意。)
2. 火気を使用している場合は、火の始末。
3. 出口の確保
4. 状況により教職員・放送等の指示によりグラウンドへ避難。
(エレベーターの使用はしない)

NTT災害伝言ダイヤル

録音方法

1 7 1 をダイヤル

1 (暗証番号を利用する録音は**3**)

録音する人の自宅電話番号

0 × × × × × × × × ×

再生方法

1 7 1 をダイヤル

2 (暗証番号を利用した再生は**4**)

連絡を取りたい人の自宅電話番号

0 × × × × × × × × ×

急病人対応マニュアル

学内で急病人が発生した時、迅速かつ的確な対応をするためのマニュアルです。
人命に関わることなので落ち着いて対応してください。

急病人が発生したら……

- 周りの安全を確認してそばに寄り、声をかける。

応答がなければ、肩をやさしくたたきながら大声でよびかけ、意識があるか確認する。

- 反応がない
- いつもと違う
- 様子がおかしい



大きな声で人を呼び、協力を得る。
**119番、緊急連絡先へ通報し、
AEDの要請を行う。**

そばを離れない！！

出来るだけ動かさない！！特に頭や首の外傷が疑われる時は注意する。

- 反応がなく、普通の呼吸がなければ、すぐに**心臓マッサージ**を開始する。

圧迫する位置

胸の真ん中、胸骨の下半分

圧迫の方法

強く、早く、絶え間なく圧迫



- その他注意事項…プライバシーの配慮、発生時刻の把握。

緊急連絡先

- ①119番通報（重大な病気やけがの時。『救急です。八王子市大塚359番地です。』）
- ②学内診療所 **042-678-3319**（医師・看護師への連絡、必要時AEDの要請）
- ③学生サポートセンター **042-678-3643・3309**（職員に状況報告）
- ④中央管理室 **042-678-3210**

ためらわずに救急車を呼んでほしい症状

こんな症状がみられたら、ためらわずに**119番に連絡してください！**

重大な病気やけがの可能性があります。

顔

- 顔半分が動きにくいあるいはしびれる
- ろれつがまわりにくい、うまく話せない
- ものが見えにくくなる
- ものが突然二重に見える
- 顔色が明らかに悪い



腹

- 突然の激しい腹痛
- 持続する激しい腹痛
- 吐血や下血がある



頭

- 突然の激しい頭痛
- 支えなしで立てないくらい急にふらつく

胸や背中

- 激しい胸痛や背部痛
- 急な息切れ、呼吸困難
- 胸の中央が締め付けられるような、または圧迫されるような痛みが2～3分続く
- 痛む場所が移動する

手足(四肢)

- 突然のしびれ
- 突然、力が入らなくなったり動かなくなったりする

意識の障害

- 意識がない(返事がない)又はおかしい(もうろうとしている)
- ぐったりしている



けいれん

- けいれんが止まらない
- けいれんが止まっても、意識がもどらない

けが・やけど

- 大量の出血を伴う外傷
- 広範囲のやけど



吐き気

- 冷や汗を伴うような強い吐き気

飲み込み

- 食べ物をのどにつまらせて、呼吸が苦しい
- 変なものを飲み込んで、意識がない



事故

- 交通事故にあった(強い衝撃を受けた)
- 水におぼれている
- 高所から転落

- その他、いつもと違う場合、様子がおかしい場合

八王子キャンパスから20km圏のエリア



徒歩で帰宅可能な目安は20km

災害時は各所が混雑し、歩行速度が遅くなります(10kmで約4時間)。徒歩で帰宅可能なエリアの目安は20km。日没時間を考慮し、安全のため無理をせず、キャンパスに留まることや近くの避難場所に向かうことも大切です。また、チーンメールや噂などに惑わされず、大学や公共機関、テレビ、ラジオなどからの正確な情報をもとに行動しましょう。

日頃から、徒歩による帰宅マップを作つておきましょう

- なるべく幹線道路のみを使って帰れる経路を確認しておきましょう。
- 危険箇所や休憩場所を確認しておきましょう。
- 迂回路も調べておきましょう。
- 実際に歩いてみましょう。

※市販の「帰宅支援マップ」も参考になります。

帰宅困難者対策

帰宅困難になつたら

- むやみに移動を開始しない
- まず安否確認をする

災害用伝言ダイヤル171や携帯電話災害用伝言板等を活用し、家族や大学と連絡をとり、冷静に行動できるよう気持ちを落ち着かせる。

- 正確な情報を把握して冷静に行動する

公共機関が提供する正確な情報を入手し、状況に応じて、どのような行動を(帰宅、一時移動、待機など)が安全なのか自ら判断する。

- 帰宅できるまで帰宅困難者同士で助け合う

一時待機できる屋内施設においては、災害時要援護者(高齢者、乳幼児、障がい者、妊娠産婦など)を優先して収容する。

九都県市首脳会議防災・危機管理対策委員会ホームページ

<http://www.9tokenshi-bousai.jp/comehome/comehome.html>



非常時アイテムリスト

日頃から携帯しておくと便利なもの	現金(10円、100円硬貨も)、身分証明書(免許証など)、健康保険証、アドレス帳(家族、友人の連絡先)、タオル・絆創膏などの救急用品、ポリ袋、ラジオ・ライト、ティッシュ、予備の眼鏡(コンタクト)、雨具(カッパ)、チョコレート・あめなど、油性マジックペン、軍手
その他非常時に必要なもの	非常用食料・水(3日分程度)、リュック、預金通帳・印鑑、常備薬、懐中電灯、ろうそく、使い捨てカイロ、衣類(下着、セーター、ジャンパー等)、予備電池、マッチやライター・ろうそく、ホイッスルなど

本人おぼえ書き

大学 短期大学 大学院	学部 学科	学科・コース 年次 専攻	
学籍番号			
氏名			
生年月日	年	月	日生
血液型			

帝京大学・帝京大学短期大学 八王子キャンパス

〒192-0395 東京都八王子市大塚359番地

問合せ先一覧

042-678-△△△△(下記連絡先4桁を入れてください)

窓口	連絡先	場所
学生サポートセンター	課外活動等 3309 奨学金 3310	
診療所(医務室)・カウンセリングルーム	3319	
経理グループ	学納金 3444(会計) 施設・設備 3662(管財)	ソラティオスクエア 1階
広報グループ	学校見学・ オープンキャンパス 3311	
キャリアサポート センター	キャリア形成および 就職進路支援 3307	
国際交流センター	外国人留学生支援 海外留学支援 3237	
教務グループ	履修・授業・成績等 3301 教職課程・学芸員課程 図書館課程 司書教諭課程 3300	ソラティオスクエア 2階
教職センター	教職関連支援 3993	
学術情報グループ	メディアライブラリー センター(MELIC)	メディアライブラリーセンター
	ACT2	ソラティオスクエア 6階
	ACT3 学習支援デスク	ソラティオスクエア 5階
	帝京大学総合博物館	ソラティオスクエア 地下1階
情報処理センター	学内ネットワーク関係 3590	8号館1階
外国語学部留学支援室	3359	ソラティオスクエア 7階
中央管理室	3210	蔦友館地下1階
防災センター	3951	ソラティオスクエア 地下1階